

3つの支援とは

5領域すべてを含めて総合的な支援を提供・個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化しています。

発達支援

(本人支援・移行支援)

家族支援

地域支援


5領域とは




【具体的な支援プログラム】

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<p style="text-align: center;"><b>健康 ① 生活</b></p> <p>③健康状態の維持・改善</p> <p>⑥生活のリズムや生活習慣の形成</p> <p>⑦基本的な生活スキルの獲得</p>	<p>③健康状態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な生活を作り出すことを支援する</li> <li>利用時の健康状態を確認する</li> <li>意思表示が困難な子どもの変化に気づき、対応する</li> </ul> <p>④健康の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食事、排泄、睡眠等の基本的な生活リズムを身につける支援を行う</li> <li>個に応じた、望ましい食習慣の定着を図る事を支援する</li> <li>食事に向かえる環境及び姿勢の調整を行う</li> <li>病気の予防や安全に配慮する</li> </ul> <p>⑤基本的な生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体を清潔にし、食事や衣類の着脱等生活に必要な基本的技能の習得に対し、個に合わせた支援を行う</li> </ul> <p>⑥構造化等により生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に集中できる環境を整える</li> <li>時間の把握やスケジュールの理解を視覚的又は聴覚的に捉えられる環境を整え、行動に移せるよう支援する</li> </ul>	<p>・登所時候温、体調確認を行う</p> <p>・送迎時に保護者から体調の変化を小まめに伝え合う</p> <p>・個に応じて食事内容や食具、食器の種類、環境を調整する</p> <p>・必要に応じて、良肢位保持を目的としたポジションニングを行う</p> <p>・安全に嚥下できるよいう食形態の変更・家族への提案を行う</p> <p>・料理やお菓子作り</p> <p>・手洗い、うがい</p> <p>・トイレトレーニング</p> <p>・衣類の着脱</p> <p>・他者への配慮(マナーの獲得)</p> <p>・必要に応じて、パーテンションやイヤーマフ等を活用する</p> <p>・視覚的イラストや聴覚的手段(タイマー)を用いてスケジュールの確認、時間に合った行動の切り替えを行う</p>
領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<p style="text-align: center;"><b>運動 ② 感覚</b></p> <p>③姿勢と運動動作の向上</p> <p>④保有する感覚の総合的な活用</p>	<p>③姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動経験を積み重ね、姿勢を保つための体の土台作り(体幹・平衡感覚等)を促す支援や机や椅子等の環境調整を行い、安定した動作を獲得するための支援を行う</li> <li>手と手、目と手、足と手等、複数の身体各部意を同時に動かす協調運動の獲得に向けた支援を行う</li> </ul> <p>④身体の移動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定した歩行獲得に向け、姿勢保持の基盤となる体幹に着目したトレーニングを遊びや活動の中に取り入れた支援を行う</li> </ul> <p>⑤保有する感覚の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援する</li> </ul> <p>⑥感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じて、遊びの種類や強度を調整し、「受け入れられるものから」「能動的に」楽しめる遊びを一緒に検討する</li> <li>遊びの偏りに対して、受け入れが良い遊びから他の遊びへ汎化していくことが出来るように、遊びの幅を広げていく支援を行う</li> </ul>	<p>○体力・持久性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お散歩</li> <li>鬼ごっこ</li> <li>リズム遊び</li> </ul> <p>○体幹/バランス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バランスボード</li> <li>キャッチボール</li> <li>フランク</li> <li>棒渡り</li> <li>アスレチック</li> <li>引っ張り相撲</li> <li>すべり台</li> <li>鬼ごっこ</li> <li>リズム遊び</li> <li>棒によじ登る</li> <li>クライミング</li> </ul> <p>○協調性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボール遊び</li> <li>的当てゲーム</li> <li>ボーリング</li> <li>オゴディスク</li> <li>段ボールキャタピラ</li> <li>お手玉</li> <li>縄跳び</li> <li>クライミング</li> <li>ハサミやのりなどの道具操作</li> </ul>

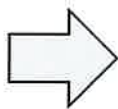
領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<p style="text-align: center;"><b>認知 ③ 行動</b></p> <p>①認知の発達と行動の習得</p> <p>②空間・時間数等の概念形成の習得</p> <p>③対象や外部環境の適切な行動の習得</p>	<p>①感覚や認知の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚・聴覚等の感覚器から入力された情報を収集し認知機能への発達を促す支援を行う</li> </ul> <p>②知覚から行動への認知過程の発達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境から情報を習得し、必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知過程の支援を行う</li> <li>・個に合わせた環境調整、関わり方に関する支援を行う</li> </ul> <p>③認知や行動の手掛かりとなる概念の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物、形、色、音が変化する様子、空間や時間等の概念の形成を図ることで認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行う</li> </ul> <p>④数量、大小、色等の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための日常生活で具体的な働きかけを行う</li> </ul> <p>⑤認知の偏りへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入力される感覚情報の段階付けや環境調整を行い、適切に処理できるように支援を行う</li> </ul> <p>⑥行動障害への予防及び対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる行動障害に対して予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた支援を行う</li> <li>・ストレスを感じた具体的な出来事が起きた時に「頭の中に浮かぶ考え(認知)」「感じる気持ち(感情)」「体の反応(身体)」「振る舞い(行動)」等自分のストレス反応パターンに気付き、更なる悪循環に陥らないように、安全で落ち着ける場所を確保し、調整方法について対話の中で一緒に模索していく支援を行う</li> </ul>	<p>○机上活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙</li> <li>・フラパン</li> <li>・レジン</li> <li>・段ボール制作</li> <li>・ブロック遊び</li> <li>・レゴブロック</li> <li>・粘土遊び</li> <li>・ビジョントレーニング</li> </ul> <p>○塗り絵</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステッカーアート</li> <li>・アクアピース</li> <li>・スライム</li> <li>・型はめ</li> <li>・カルタ</li> <li>・トランプ</li> <li>・なんじゃもんじゃ</li> <li>・パズル</li> <li>・絵カード(マッチング、名称呼称)</li> </ul> <p>○身体活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャボン玉</li> <li>・棒渡り</li> <li>・フラシコ</li> <li>・すべり台</li> <li>・アスレチック</li> <li>・リズム遊び</li> <li>・ビジョントレーニング</li> </ul> <p>○スティックジャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケンケンバー遊び</li> <li>・園芸(野菜作り)</li> </ul> <p>他 etc. スケジュール表の活用</p>

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>③言語の形成と活用</p> <p>⑥言語の受容及び表出</p> <p>③コミュニケーションの基礎的能力の向上</p> <p>④コミュニケーション手段の選択と活用</p>	<p>③言語の形成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の身体・感覚・運動を通じた具体的活動経験の積み重ねにより、言葉の発達を促す支援を行う</li> </ul> <p>⑥受容言語と表出言語の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた言葉や文字、イラストを用いて相手の意図を理解したり（受容）自分の考えを伝える（表出）支援を行う</li> </ul> <p>③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対人関係や社会生活を営むために必要な技能（スキル）の学習を促し、学校などの社会生活を円滑に行う事が出来るよう支援する</li> </ul> <p>④指さし、身振り、サイン等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個が理解できる指さし、身振り、サイン、イラスト等を用いて、意思の疎通を図り、コミュニケーションをとることの楽しさを積み重ねていけるような支援を行う</li> </ul> <p>⑥読み書き能力向上のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた読み書きの向上のための支援を行う</li> <li>必要に応じて、道具の調整を行う</li> </ul> <p>④コミュニケーション機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じて、認識しやすい文字の字体、色、大きさ、イラストを選択し、学習への意欲向上と円滑な意思疎通が図れる支援を行う</li> </ul>	<p>具体的な活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本（読み聞かせ）</li> <li>園芸活動（野菜作り）</li> <li>お手伝い（料理、皿洗い、拭き、片付け）</li> <li>行事ことのイベント（お花見、海水浴、七夕、スイカ割り、プール遊び、流しそうめん、雪遊び、スケート、お誕生会等）</li> <li>絵カードの利用</li> <li>ごっこ遊び</li> <li>つもり遊び</li> <li>カードゲーム（トランプ、カルタ、なんじゃもんじゃ等）</li> <li>運筆や書字練習</li> <li>ぬりえ</li> <li>おえかき</li> <li>ブラバン</li> <li>認識しやすい掲示物</li> </ul>

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>③他者との関わり（人間関係）の形成</p> <p>⑥自己理解と行動の調整</p> <p>③仲間づくりと集団への参加</p>	<p>③アタッチメント（愛着行動）の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う</li> </ul> <p>⑥模倣行動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊び等を通じて人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整、関わりの支援を行う</li> </ul> <p>③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に応じた感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせるための遊びの環境調整を行う</li> <li>見立て遊びやごっこ遊び等の抽象遊びを通し、関わり方を提案する中で、徐々に社会性の発達の支援を行う</li> </ul> <p>④一人遊びから協働遊びへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人遊びから並行遊び、連動遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協働遊びを通してスモールステップで遊びの育ちを促し社会性の発達の支援を行う</li> </ul> <p>⑥自己の理解とコントロールのための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に応じた関わり方の提案をし、自分のできること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し気持ちや情動の調整が出来るような支援を行う</li> </ul>	<p>具体的な活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個に合ったスキンシップを取り、精神的な安定を図るハイタッチ、背中トントン、背をさする等）</li> <li>ダンス</li> <li>リズム遊び</li> <li>ごっこ遊び</li> <li>つもり遊び</li> <li>集団遊び（椅子取りゲーム、大綱とび、ホーリング等）</li> <li>カードゲーム（トランプ、カルタ、なんじゃもんじゃ等）</li> <li>壁画制作</li> <li>自己紹介</li> <li>相手の質問に答える</li> <li>公共交通機関を利用したお出掛け、買い物</li> <li>ごっこ</li> <li>公共施設の利用</li> <li>意思表示を表すカード（「分かりません」を意味した絵カードの</li> </ul>



	①集団への参加の支援 ・個に応じ、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団生活に参加できるような支援を行う	利用等)
--	--	------



家族に対して障害の特性や発達の各段階に応じて子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に置き、保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら丁寧な支援を行って行きます

ねらい	A：支援内容
①家族から相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）等への支援  ②家庭の子育て環境の整備  ③関係者・関係機関との連携による支援	①子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整  ②子育て上の課題と聞き取りと必要な助言  ③子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援  ④子どもを支援する輪を広げるための橋渡し  ⑤相談支援員との定期的な支援会議や支援計画の調整  ⑥関係者・関係機関の連携による支援体制の構築  ⑦家族プログラム（個別の面談等）の実施
<b>具体的支援内容</b>	
○子育ての悩みなどに対する相談を行い、様々な家族の負担を軽減していくための家族全体（父母、祖父母、兄弟）の相談援助等の支援を行っていく ○家庭内での療育において「子どもの成長を支える力」を付けられるような支援を行っていく ○支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性や特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談支援等を行っていく ○保護者の時間を保証するために、子どものケアを一時的に代行する支援を行っていく	